

本草圖譜

芳草部

七

本草圖譜卷之七目錄

芳草類 二

廉薑 れんきやう

かんせきらん

二

杜若 とあぐ

青のそふり

山薑 えんきやう

たまめうか

四

高良薑 かうりやうきやう

ふまたけらん

五

草豆蔻 さうづく

六

白豆蔻 ちくづく

七

縮砂密 ちゆくさやく

八

益智子 やくち

九

草茛 ひちろう

十

茛醬 くしやう

きんま

十一

一種

あはびき

一種

細長葉の物

肉豆蔻

十二

一種

十三

補骨脂

たらんごひめ

十四

薑黃

十五

鬱金

きねめくさ

十六

蓬莪茂

うすごろ

十七

荊三稜

くろり

十八

一種

あなかつり

一種

がむ

十九

莎草香附子

えほすげ

二十

一種

水莎草

一種

かやけりくさ

廿一

一種

一種

一種

一種

かうげん

廿二

一種

本草圖譜卷之七

東都

岩崎常正著

芳草類二

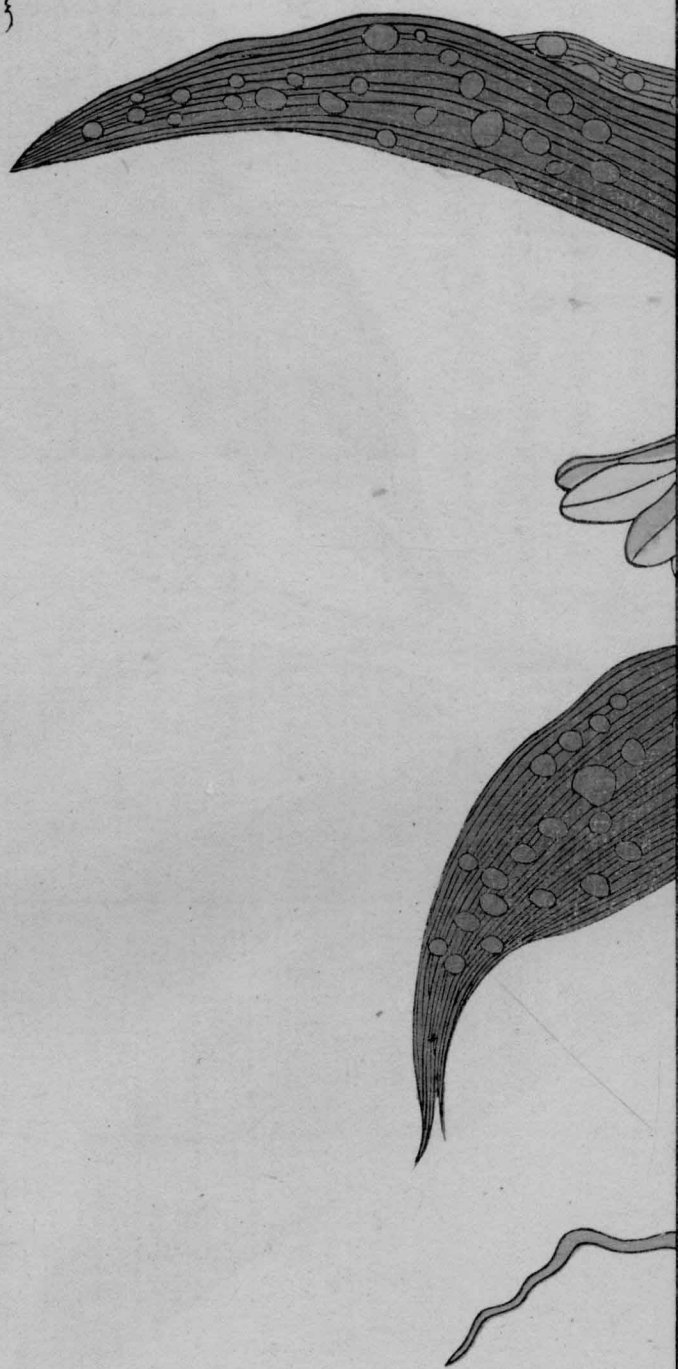
二十九種



廉薑 れんきやう

かんざきらん

和俗錦雞蘭ともいふ人家稀に植冬凋ビヤクキウは白菱ビヤクキウに似て短く又杜若ツクシの苗コメに似て潤く淡黄色の斑点あり故に又ちつらんともいふ根の傍に一莖をせし高さ二尺むろ梢は五七莖あり形白菱に似て黄色る根一年一塊と生る形羸ウツクに似て緑色多く連生に根味辛こと番椒タヤガラシの如し此物神田氏の説に紀州山中に自生ありて俚民根を採生ウマユて菜ナマを加へ香味を助く辛して氣香く薺菜カシサイに似たりといふ



本草圖譜 卷之七
杜若 とさく

あをのくまたけら

長崎めて和の

高良薑と云形

状をまたけらふ

似て高三尺むろ 莖綠色暖地るれが冬凋まぶ花の
形も高良薑ふ似て白色心淡紅ろ葉根とも良
香あり根黃色味辛一弘景の説ふ葉似薑而
有文理根似高良薑而細味辛香と云又廣



東新語ハ鮮草果人多種以為香料蓋即杜若非菜中之草果也其苗似縮砂三月開花作穗色白微紅五六月子結其根勝於葉味辛以溫能避瘴氣と云是なり先輩かきつむし又やぶめうが等を充るハ皆誤なり別ふ委き考あり

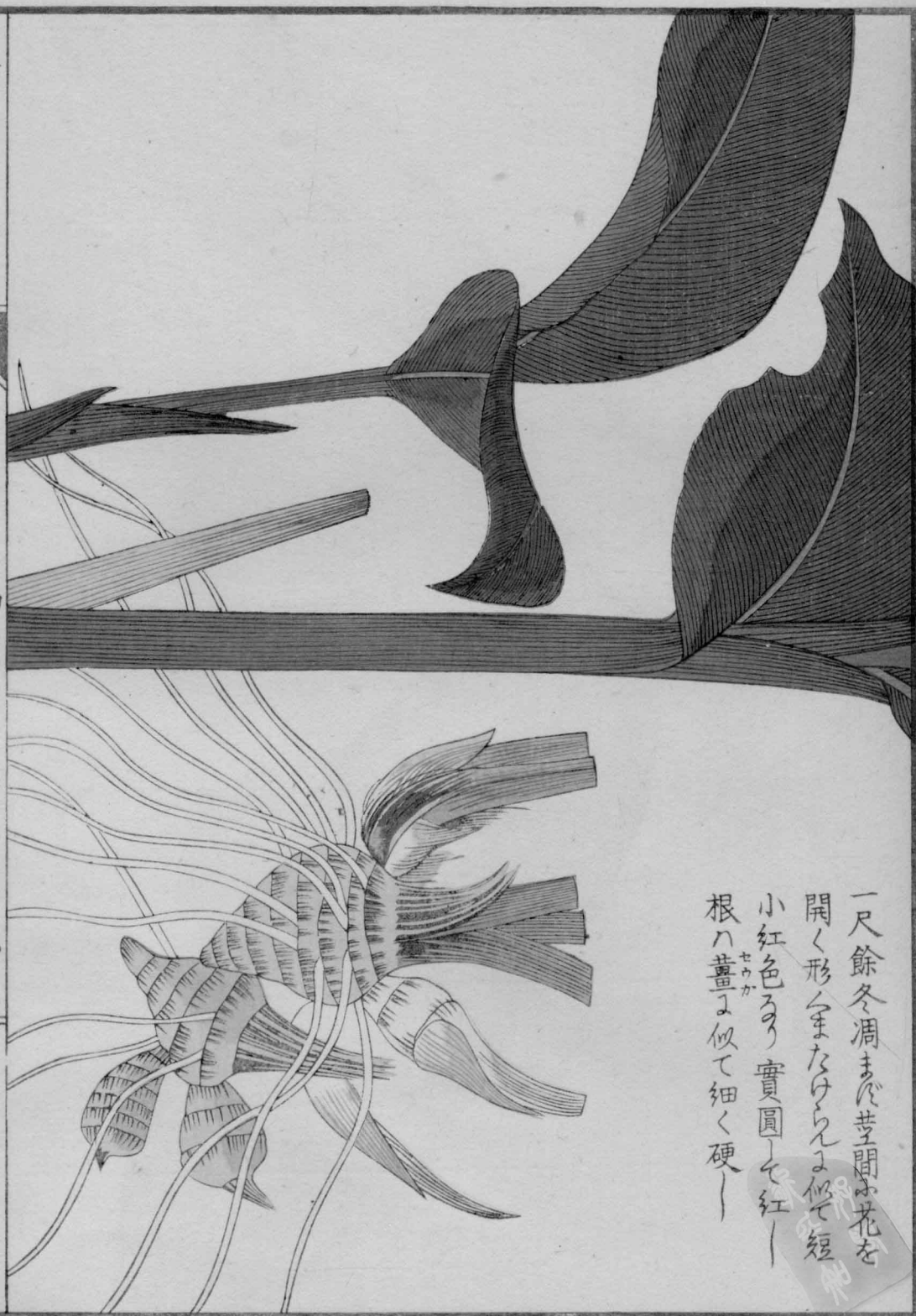


山薑 さんきやう

なまめうが



豆州高田郡及勢州紀州豫
州駿州等亦産（山薑）薑亦
似て微毛あり（山薑）紅紫色なり



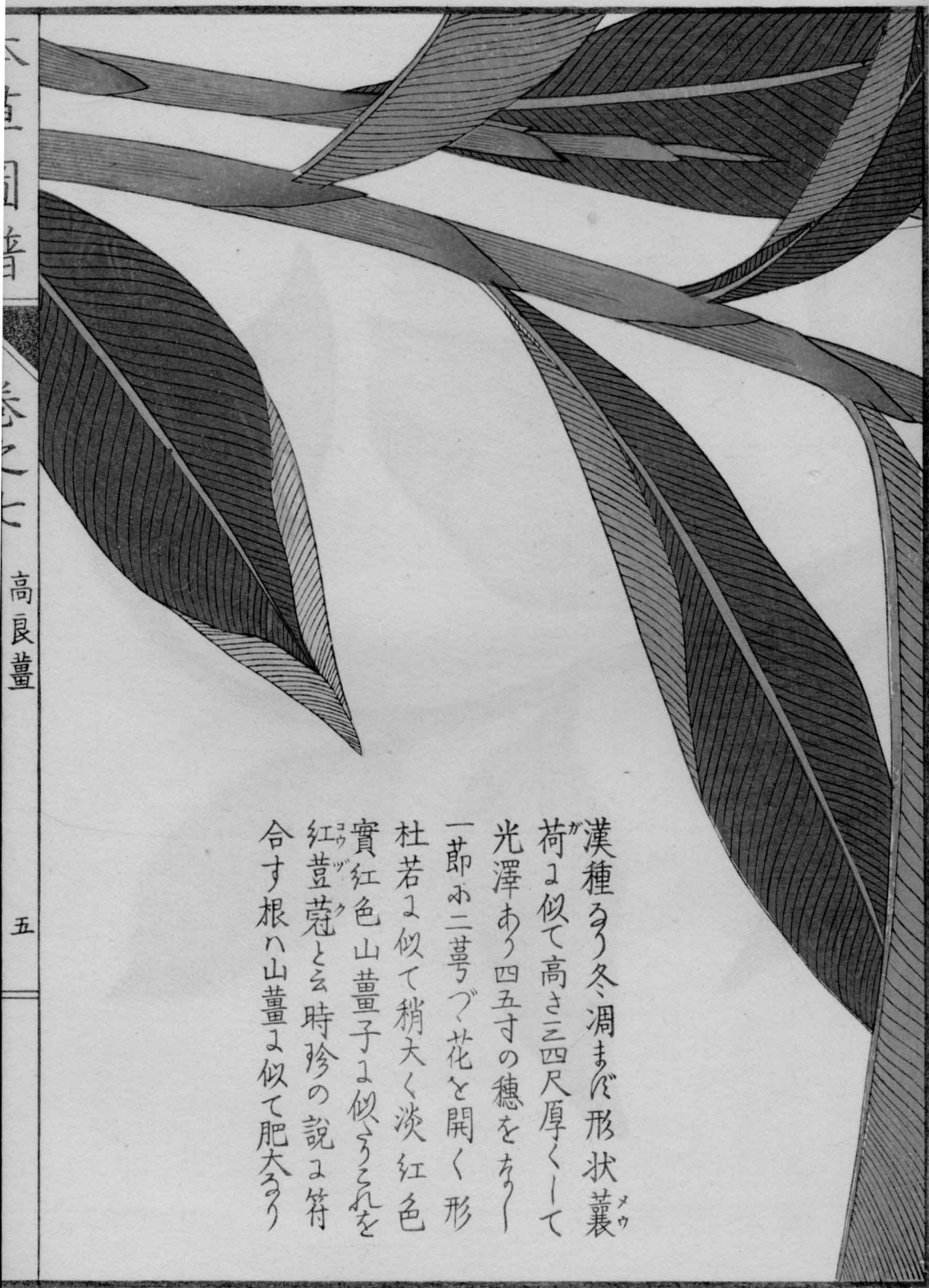
一尺餘冬凋まぐ茎間ふ花を
開く形ふまなけらるゝ似て短
小紅色ろり實圓く紅く
根ハ薑セウカに似て細く硬く

高良薑 かうりやうきやう

くまたけらん

がらんが 和蘭

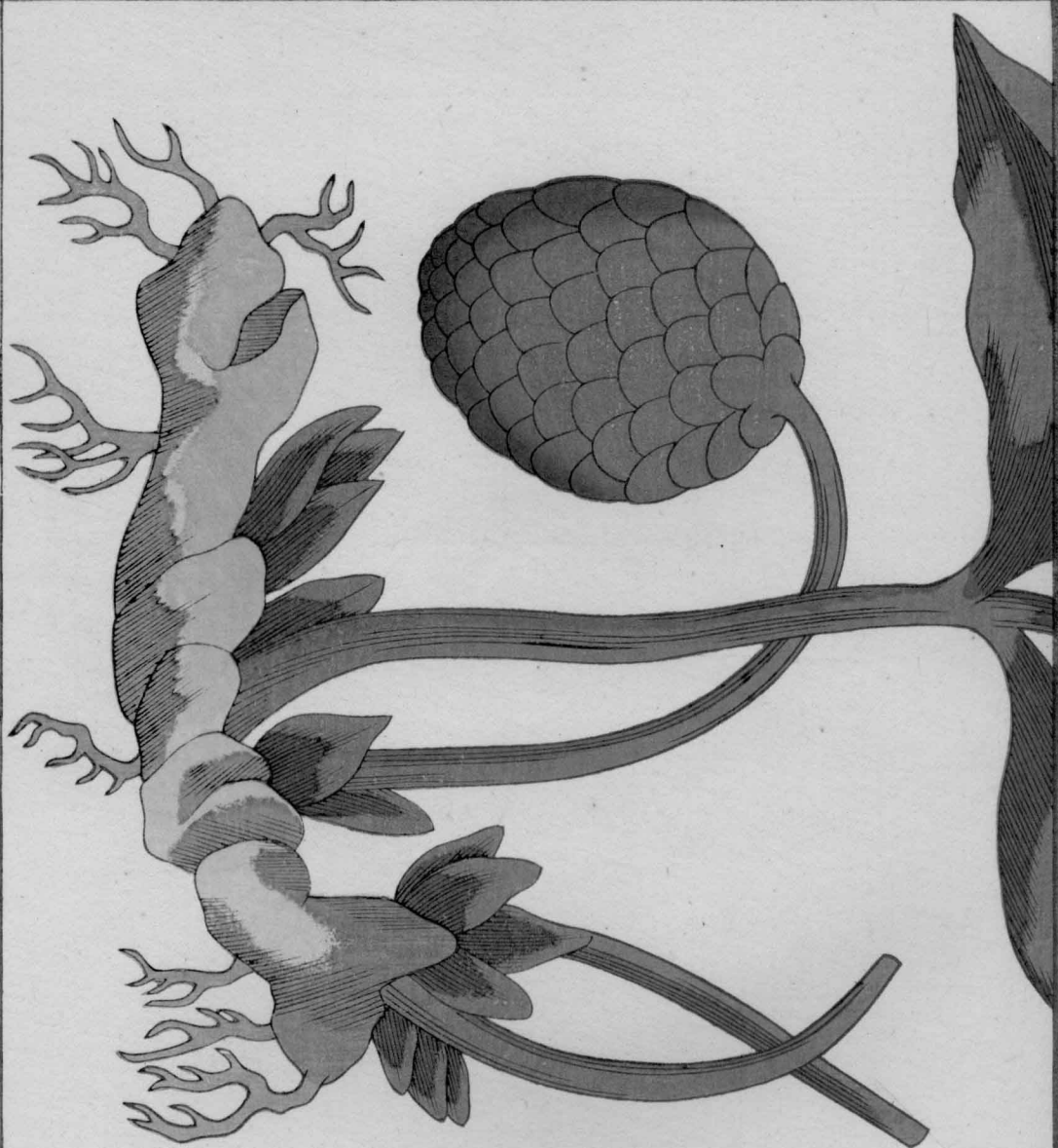




漢種ろく冬凋まぐ形状叢
 荷^ガは似て高さ三四尺厚くいて
 光澤あり四五寸の穂をちり
 一節ふ二莖づつ花を開く形
 杜若^{ハナコ}は似て稍大く淡紅色
 實^ミ紅色山薑子^{ショウキョウ}は似るこれを
 紅薑薺^{ベニショウキョウ}と云時珍の説は符
 合す根ハ山薑^{ショウキョウ}は似て肥大あり

草荳蔻^{さうく}





和蘭物印滿の
圖からが羅の類の
中めて苗葉菜^井菜^ス蕪
み似て長く根の傍
より實を生ト形
松毬の如く根横
行ー良薑に似る
ものありこき草
荳蔻あり

白^{びや}荳^づ蔻^く

和蘭物印滿の圖
がらんが^旬羅の類の中そ
苗葉黃精に似て
長く木に穂を坐す
白花を開くものあり
これ白荳蔻あり



實の圖
宇田川榕菴寫



縮砂密ちぢくさやう

カルダモミ ユムマユス 荷蘭



和蘭物印満の圖
其形木本の様ありて
枝を分葉狭長実下
垂して赤黒色なり
然れども本草綱目
縮砂益智ヤシとも草本
なりと云ふ合されば此